

成果報告書

地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	公益社団法人 教育演劇研究協会 劇団たんぽぽ (はままつ演劇クラブ)		
所在地	静岡県浜松市	設立年	2021年
運営主体	公益社団法人 教育演劇研究協会(劇団たんぽぽ)		
事業目標	本事業の実施を通して、児童生徒に文化芸術活動(演劇)体験の機会を提供するとともに、継続した演劇クラブとして様々な学校や学年の児童生徒が集える、地域に根付いた活動拠点を作る。また、参加する児童生徒の自主性、主体性を育み、その保護者や地域住民が、芸術文化に触れ、楽しむ機会を増やすことも目標。		
きっかけ	浜松市の小中学校には、演劇クラブや演劇部がない。しかし、演劇的手法を使った表現指導や学芸会指導を求める学校は多い。そのため、浜松市を拠点に活動している劇団たんぽぽが、子どもたちの学校や学年の垣根を超えて、地域活動として参加できる演劇クラブを創設した。		
団体・組織等の連携			
活動場所	主に浜松市浜北文化センター内施設(静岡県浜松市))		
活動概要	浜松市浜北文化センター内施設において、6月から土曜日を基本として活動。午前クラスと午後クラスに分かれて約2時間、小学4年～中学2年までの約20名を対象に行う。部費として月2000円を徴収。基本的に劇団たんぽぽ劇団員が指導にあたるが、その他の実演家もコーディネートする。台本を使い、演技だけでなく、照明、音響、美術、脚本等、幅広く演劇に触れながら、作品作りを目指す。年度末には、成果発表会を行い、一年間の活動の成果を地域住民や学校教育関係者に発表する。また、劇団たんぽぽの実際の公演現場を体験する機会も作る。		

○本事業による成果

- ・立ち上げの昨年度から継続参加者を含む計20名で始まった。途中1名の退部があったが、退部後も見学に訪れるなど、良好な関係が続いている。
- ・参加者の出席率は、9割であり、来年度以降もぜひ続けたいという声や、成果発表会時のアンケートでも来場者の中で参加してみたいという声が聞かれた。
- ・3月4日に実施した成果発表会では、参加者の家族や、友人、学校の教員など、あわせて約200名の来場があり、子どもたちの普段とは違った一面を見られたことをとても、喜んでいました。
- ・学校、学年の垣根を超え、協力しあう姿を、成果発表会を通して地域の方々に観ていただくことができた。来場者のアンケートには、「感動した」「この活動をもっと広げてほしい」「学校以外の子どもたちの居場所としても大切だ」「本格的演劇でびっくりした」「子どもたちが表現を楽しむ場は必要だ」など、多くの好意的な声をいただいた。
- ・市内の中学校に演劇部がなく、指導できる教員がない等の問題もあり、学校内での創部は、教員の負担がかなり大きくなってしまふ。そのような難しい現状の中、当団体が立ち上げた「演劇クラブ」が、保護者や教育関係者から、好意的に受け入れられ、継続が望まれたことは、本事業の成果である。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・成果発表会という、実際に舞台に立つ機会を作ることで、参加する児童、生徒が日々の活動の中で目標へ向かえるよう工夫している。
- ・指導には、現役舞台俳優や脚本家、振付師などプロが指導にあたり、指導者所属の劇団による実際の公演現場に立ち合わせることで、舞台に立つことだけでなく、演劇に広く触れられる機会を作るようにしている。



○運営上の工夫

- ・当団体が主体となって運営し、団体の実演家たちを指導者とするすることで、実施計画や活動内容のスケジュールが立てやすく、円滑な運営ができるように工夫している。
- ・行政や教育委員会、文化振興財団などから、実施にあたり助言をいただきながら、活動を進めている。
- ・自立した継続的活動として運営するため、保護者や地域の方々に活動を広く知ってもらうよう、広報に努めている。また、活動場所を統一し、参加者にも指導者にも負担を少なくする工夫をしている。

○継続的な運営に関する課題・展望

行政、学校教育機関、市の文化財団から、活動に対する助言や、協力は得られているが、資金面での協力を受けられるところを今後見つけられるかが課題。

また、活動場所として定着しそうであった浜松市浜北文化センターが、再来年度大規模改修工事に入るため、新たな活動場所も見つけなければならない。

ただ、保護者含め、学校関係者からも理解は大きく、今後は部費の値上げも視野に入れつつ、引き続き、資金調達のための協力者依頼や、補助金活用などを見つけていく。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

学校部活動の地域移行には、既存の部活動が中心に進められていくため、これまで学校の部活動として存在していない演劇部を学校の部活動として認知されるには、まだまだ、先は長いと考える。

しかし、小中学生でも演劇に興味があり、活動をしたいというニーズは大きい。そのため、まずは、地域活動として「はままつ演劇クラブ」を継続し、広く認知してもらうことで、部活動として認められるような働きかけをしていく。スポーツや音楽だけではなく、子どもたちが興味を持った活動が、幅広く享受できるようにすることが、重要と考える。

資金面や活動場所について、今後は、地域の団体や企業、行政の力も大いに借りながら、このクラブを定着させていく。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	小学生15名、中学生5名 うち小学生1名途中退部。
	学校名	北浜南小、都田南小、相生小、冨塚小、和田東小、新原小、北浜東小、上島小、赤佐小、三方原小、葵ヶ丘小 北浜中、開成中、丸塚中、笠井中、浜松西高等部(以上すべて浜松市内)
	募集方法	教育委員会の許可を得て、学校を通して参加者を募集。 募集チラシによる募集。 市内公民館等でもチラシ配架による募集。
指導者	人数等	当団体団員11名(主な指導者5名、補助指導者6名)
	募集方法	団内で経験年数や経歴によって、選出。スケジュールとカリキュラムを調整し、指導にあたる。
参加者の移動手段		保護者による送迎。自転車。交通公共機関の利用。
活動費用	指導者謝金等	指導者謝金(賃金)5100円/1時間
	その他	活動場所使用料:約8,000円/1日 教材、案内等の印刷代:約10,000円/月 保険料:38,400円/年間
活動財源	会費	月額/2,000円
	その他	地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業委託費
スケジュール	基本活動	6月～2月までの土曜日を基本に、活動。午前クラスと午後クラスに分かれ、それぞれ2時間の活動。(10時～12時もしくは、13時30分～15時30分) 3月初旬に成果発表会を実施。成果発表会が近づくと、活動時間を30分延長する場合もあり。
	年間	4月～5月募集 6月～活動開始 基本毎週土曜日 (2～3時間/1回) 3月成果発表会
保険加入等		参加者、指導者は、スポーツ保険に加入。

【活動の様子（写真添付）】

